

ライフケアガーデン熱川 本館

症 例 概 要 利用者氏名：K・K様(70代後半、男性) 要介護3
病名：脳出血(左前頭葉)、糖尿病、高次脳機能障害、失語症

経過：S市出身。市内の病院にて、事務職や運転手など、約40年間勤務。定年にて退職されてからは、自営業の長男の手伝いをされ、昨年2月に妻に先立たれてからは一人暮らしをされていた。昨年10月に自宅にて倒れ、ドクターヘリにてJ大学病院に搬送。脳出血の診断にて、開頭術施行。状態が落ち着き、熱川温泉病院に転院。半年ほど、リハビリを行った後、ライフケアガーデン熱川に入居となった。

内 容

生まれも育ちもS市であり、家族仲も良く、退職されてからは西伊豆病院の看護部長だった奥様の送り迎えをするなど、まさにおしどり夫婦でした。発症され、ライフケアガーデンに移られてからも、失語症で、人と会話することができず、また、自宅から離れることが初めてであり、一人ベッドにて引き込まれることの多い生活でした。

今年8月になり、奥様が無くなって間もないこともあって、初めて自宅への外出をさせてあげたいとのご希望がご家族よりありました。ただし、ご自宅は、通りから離れたところにあり、玄関前には急な階段があって、介助をしてやっと歩ける状態だったKさんにご自宅の出入りが可能であるか、心配もありました。

スタッフとしては、コロナ禍にて面会が困難な状況の中、引き込まれることの多いKさんに、ご家族に会う喜びを感じていただきたい、また、お盆に奥様のため仏壇に手を合わせてあげたいという思いが強くありました。そこで、リハビリでは階段昇降に備えての段差練習を取り入れ、外出時には感染対策をしっかりとすることで、ご自宅へのお盆の帰省を実現することができました。

当日は、遠方からお孫さんもいらしており、自宅の階段もがんばって無事に上られ、ご本人も、ご家族も、笑顔の絶えない時間となりました。